

## 第10回東アジア首脳会議（EAS）議長声明骨子（2015年11月22日）

- 2015年にEAS設立10周年を迎えることに留意。東アジア地域における平和、安定、経済的繁栄を促進するとの目的で、政治、安全保障、経済に係る地域共通の懸念事項に関する戦略的対話及び協力を実施する首脳主導のフォーラムとしてのEASの役割を強調した過去の諸宣言へのコミットメントを再確認。
- EAS 10周年記念の機会にEASを更に強化する中で、「EAS 10周年記念クアラルンプール宣言」を採択。
- 次の10年間に向けた新たな連結性計画をASEANが策定中であることを念頭に、「シルクロード経済ベルト」及び「21世紀の海のシルクロード」計画に留意し、アジア開発投資銀行（AIIB）の早期設立及び「質の高いインフラパートナーシップ」に期待。ASEAN・東アジア経済研究センター（ERIA）による「CADP 2.0」に留意。
- 海洋の安全及び安全保障を促進する上で地域協力推進の重要性を強調。「地域海洋協力推進に関するEAS声明」を採択。インドネシアにおける第6回ASEAN海洋フォーラム及び第4回拡大ASEAN海洋フォーラム（EAMF）の同時開催も歓迎。海洋協力をEASの優先協力分野に含めることの可能性を追求するよう事務方に指示。
- 南シナ海における平和、安定、安全の維持並びに航行及び上空飛行の自由の保持の重要性を再確認。
- 当事者間の信頼・信用を傷つけ、地域の平和、安全及び安定を損ない得る、地域における最近及び現在進行中の動向に対して、複数の首脳により表明された深刻な懸念に留意。
- 習近平主席が最近の米国訪問中に表明した、中国は南シナ海において軍事化を追求する意図はないという中国からの保証を歓迎。
- 南シナ海行動宣言（DOC）全体としての完全かつ効果的な履行を確保し、相互の信頼及び信用を構築・維持・増進し、行動に自制を働かせ、威嚇又は武力の行使に訴えず、関係当事国が1982年の国連海洋法条約を含む国際

法にのっとして立場の違い及び紛争を平和的手段によって解決する、とのASEAN加盟国及び中国のコミットメントを強調。

- 2015年10月19日～20日に中国・成都で開催されたDOCに関する第10回ASEAN・中国高級実務者会合（SOM）及び第15回ASEAN・中国共同作業部会（JWG）の結果に留意。南シナ海行動規範（COC）策定に向けた協議を次の段階へ進めるとのASEAN加盟国と中国の間の最近の合意に勇気づけられており、効果的なCOCの早期策定を期待。
- 朝鮮半島における最近の動向を懸念とともに留意し、地域における平和、安全及び安定の重要性を強調。北朝鮮による2015年5月の弾道ミサイル発射に深刻な懸念を表明。緊張を高めるいかなる行動にも反対。朝鮮半島における信頼醸成に向けた活動の重要性、並びに全ての関連する国連安保理決議を完全に履行すること及び平和的な方法による朝鮮半島の完全かつ検証可能な非核化に向けた道を開く2005年9月19日の六者会合共同声明の下でのコミットメントを関係者が遵守することの必要性を強調。拉致問題を含む人道上の懸念に対処することの重要性も強調。
- 最近数週間のテロ攻撃を強く非難。暴力的過激主義及びテロリズムの脅威へ包括的に対処する必要性を強調。「穏健主義のグローバル運動に関するEAS宣言」及び「暴力的過激主義に対抗するEAS声明」を採択。
- 民主主義、透明性及び説明責任の原則に導かれ、開放的かつ包摂的な協議を通じて得られるような、総会の再活性化及び安全保障理事会の改革を含む国連の包括的改革の必要性を再確認。
- ASEAN経済共同体の実現、並びに東アジア及びアジア太平洋地域の更なる地域経済統合に向けたASEANのコミットメントへの支持を再確認。TPP交渉妥結及び東アジア地域包括的経済連携（RCEP）合意に向けた交渉で得られた進展に留意。2015年11月22日の「RCEP交渉に関する共同声明」のとおり、全ての当事者がRCEP交渉妥結に向けた努力を強化することを要請。
- ラオスでの2016年第11回EAS開催を期待。

（了）